

【団体助成】

身近でがんばっておられる、いろいろな分野の、できるだけたくさんの市民活動団体の皆さんに、少額でも、多くの皆様からの応援とご寄附をとどけることを目的としています。

桑名員弁地域にある市民活動団体を、きらきら基金運営委員会が訪問して取材させて頂き、ホームページで紹介した団体の中から、エントリーをしてもらっています。

*助成事業当日にご来場いただいた皆様からの 100 円単位のご寄附投票額と、団体の獲得したご寄附投票額の比率により「予め用意した助成原資（15万円）」を按分した額とを合わせて助成いたします。

団体助成エントリー団体紹介

なないろのわ (いなべ)	『なないろ』とは、一週間の『七曜』のことで、人がこれらの『なないろ』から離れずに暮らすこと、地球に生きるみんなが自分らしく自分の色を大切に生きていく社会を創っていきたくてという思いを名前に込めたものです。保育部門の「ねっこのわ」では、自然の中で過ごし、自分、仲間、暮らしと繋がる毎日の生活を大切に、自分で考え自分で行動できる姿を目指します。子どもたちの心身の土台となる食も大切にします。その啓発として3月に、ドキュメンタリー映画「食の安全を守る人々」を上映します。
子どもアドボカシー センターMIE (桑名)	2022年2月設立したばかりの団体。 活動の主となる「子どもアドボケイト」は、子どものマイクと言われています。子どもの声を聴いて、届けたい人に届ける手伝いをします。 子どもの大切な権利…「意見形成」と「意見表明」を支援します。
絵手紙サークル いなべ百合の会 (いなべ)	「へたでいい」「元気よく」を合言葉にサークル活動をしています。それぞれが描く絵手紙の感性や言葉に共感したり、納得したり元気をもらったり、そんな「思い」を沢山の人の心に伝えることができたらと、3ヶ月に一度福祉施設で出前絵手紙教室を開催しています。コロナ禍で人との関わり方も大きく変化していく中で、施設の入居者にとっては不安なことも多く、そんなときに一緒に描いた絵手紙をご自身やご家族とご覧になる事で「元気」や「笑顔」が増えたらと活動しています。
シェアリング桑名 (桑名)	地域で支え合いの輪を広げる事を目的とし、学生が構成メンバーの団体です。若い世代の力で、自身が生まれ育った地域のためにできる事をしたいという思いから集まり、団体を結成しました。フードパントリーや子供向けの体験学習のイベントというツールを使って学校や家庭以外の豊かで多様な交流ができる集いの場「サードプレイス」を子供中心に作っていきたくてです。
つちっこの会 (いなべ)	SDGsの取組みとして、生ごみの有機発酵堆肥化を強くアピールして有機野菜作りを更に実践していくために、以下の活動を進めています。 1.市民に対して、生ごみを捨てずに分別して「大安堆肥センター」への持込みを促す。 2.「つちっこ会」の会員拡大。 3.発酵促進剤としてサイオンEM原液の活用を提唱する。
NPO 法人千姫 (桑名)	障がい者支援を通して、SDGsへの取組みを行います。 廃食油を再利用した石けん、着物を再利用した手芸品、野菜の使わない部分を使ったたい肥など、廃棄するものを再利用することで、廃棄の量が減るようにします。
どんぐりの輪 (桑名)	これまで移動型で開催してきた冒険遊び場プレーパークを、今後常設化に向けて子ども主体のミーティングを行い、「子どもとつくる遊び場づくりプロジェクト(仮称)」を実施します。例えば、ひみつ基地、ツリーハウス、手作り大型遊具、手作り倉庫づくりを計画して、材料や燃料を購入して作成し、実際に遊べる環境を作ります。

【パートナー事業助成】

特徴は、他の団体・組織と「協働して行う事業」に、定額の助成をさせていただくところです。自分たちの団体だけで行うのではなく、他の団体・組織と協力することで、活動の範囲を広げて頂くこと。また、他の方たちの視点を意識して活動することで、活動の手法や資源を、より多くのところから得て頂きやすくすることなどを、目的としています。これまでにきらきら基金の団体助成を受けていただいた団体の中から、エントリーをしてもらっています。相手先の団体・組織については、きらきら基金の団体助成をうけていなくてもかまいません。また、相手先は、ボランティア団体・NPO・市民活動団体の他、企業や行政などの組織でもかまいません。 *1事業:3万円

パートナー助成エントリー事業紹介

ののほな交流会 春のお花見会 NPO 法人 障がい者支援の輪 ののほな×バルーンアートの会 2022年4月上旬、春の花見会において、参加者と一緒にバルーンアートを楽しむため、知的障害のあるかたも楽しみながら遊べる、バルーンアートを工夫します。
コラボ企画 コミュニティハウス縁×I'rie life(アイリーライフ) 若い世代、同世代の女性たちへのガン検診啓発活動として、ピンクリボン月間に合わせてコミュニティハウス縁の庭をピンク色にライトアップします。併せて、働く世代のプレキャンさんが少しでも生活のしやすい地域・社会にするための座談会を開催します。
私たちがあなたを笑顔にする～あなたのためのゆるーい居場所～ トライアングルハーティー×ゆるサロ 女性のコミュニティとして健康な前向きな心を取り戻す活動をしている「ゆるサロ」と、不登校の子を持つ母親の精神面を大きく支える活動をしているトライアングルハーティーと一緒に、女性、母親が健やかで明るい未来を創造できるような温かい場所を提供します。

【高校生の地域社会貢献活動助成】

高校生のみなさんの地域貢献活動を広く市民に知ってもらい、地域社会の維持や発展のために、多くの皆さんの応援を届けることを目的に、2018年2月より新設されました。これまでに、高校生が幼稚園・小中学校に訪問して行う活動、地域イベントに参加して地域の子供達にモノづくりや電気実験の楽しさを伝える活動や人材を育成する活動、環境に関する取り組みで全校の20~30%が集まる校外美化の活動などに、助成をしています。 *1 高校：2万円

高校生の地域社会貢献活動助成エントリー高校

桑名北高校	学校設定教科「ヒューマン」科目「コミュニケーション授業」(2年生選択科目)において『わくわくコミュニケーション』を実施しています。これは、桑名北高校・桑名市の共同事業として、高校生と深谷保育所・多度保育所の園児が1対1のパートナー制をとりながら1年間継続的な異年齢交流を行い、コミュニケーション能力の育成を図り、人への信頼感を高めるものです。今年度も新型コロナウイルス感染症予防について、桑名市と協議を重ね対策を講じながら、日常の保育の中で絵本の読み聞かせや製作遊びのサポート、散歩の同行などを行っています。
桑名工業高校	桑名地区でのイベントや、小学校に出向き出前授業(端材による木のボールペン制作)によるものづくりの楽しさ、協調性、達成感など豊かな心の形成に携わる事を目標に活動しています。また、いじめ防止活動の一環として中学校へ本校が取り組むいじめ防止活動の紹介や、共同で缶バッジの防止デザインを考え活動しています。

助成金の使い方に制限はありません。次回の助成事業のときに、会場のみなさんの前で、「成果」の報告をしていただきます。「発表する成果に裏付けられた、自由な使い方」です。